

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	農業公園維持管理事業					②事業番号	3409
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	平成 18 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	○ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 泉南市農業公園条例
⑦実施手法	直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	5	項	1	目	6	細目 1
⑨担当部名	市民生活環境部			⑩担当課名	産業観光課		会計 一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 市民	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・平成17年に開園した泉南市農業公園。花畑エリアでは春はチューリップの鑑賞及び摘み取り、秋はコスモス鑑賞として運営を行ってきたが、平成22年、泉南市農業公園内にある未利用地等における事業提案を募集し民間企業等に貸付けることで有効活用を図るため、事業者に当市農業公園の整備方針に沿った、園の未利用地等を一括管理する利用計画事業提案を募集した。これに応募した、デビッド・オーステン・ローズ園は、未利用地部分にバラ苗の育成、販売を行う生産施設を建設し、花畑エリアをバラ庭園としてスペースを展開し、バラによるガーデニングの素晴らしさを普及していきたいと提案した。審査した結果、当市は、デビッド社に対し、10年間の期間を定め、未利用地の貸付を行い花畑エリアの維持管理を委託することになった。なお、芝生広場の除草、トイレや浄化槽の清掃、受水層の検査及び修繕等に関しては、依然として市が維持管理を行なっている。	① 未利用地貸付面積	m ²
	② 委託料	千円
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
・泉南市農業公園条例・同施行規則に基づき、美観や清潔さを保ちつつ、安全・安心・快適に利用できるよう適正な維持管理に努める。	① 公園利用者(年間)	人
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
・花畑エリアは、バラの鑑賞が楽しめ、芝生広場は家族連れやグループの憩いの場となる。 ・一人でも多くの来園者及び再来園者が増えるような観光資源としての機能を高める。 その他の体系上の位置付け (5-1-2-1): 森林レクリエーションの振興	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします
	施策中	3 公園・緑地の整備
	施策小	2 農業公園の充実

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	市民	人	63,125	62,549	61,984	—	—	—
対象指標②								
活動指標①	未利用地貸付面積	m ²	11,100	11,100	11,100	11,100	—	
活動指標②	委託料	千円	2,175	2,175	2,175	2,175	—	
活動指標③								
成果指標①	公園利用者(年間)	人	40,000	50,000	53,000	53,000	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.24	0.17	0.30	0.30		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.20	0.15	0.00	0.00		
	臨時職員	人	2,263	1,610	2,432	2,432		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	8,729	11,409	8,602	9,109		芝生広場スロープ部分に芝桜を市民参加型により植栽したため事業費が増加した(H29年度)
	直接事業費	千円	10,992	13,019	11,034	11,541		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	6,948	7,167	7,061		
	その他特定財源	千円	3,252	2,330	1,759	200		
	一般財源	千円	7,740	3,741	2,108	4,280		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	農業公園開園に伴う。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	開園から6年間、春はチューリップ、秋はコスモスで賑わっていた花畑エリアが、平成24年にデビッド・オーステン・イングリッシュローズガーデンとしてリニューアルしたため、近隣の来園者はもとより遠方からの来園もある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

B

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	市民に自然とのふれあいの場を提供している。観光資源として清潔・安全に維持している。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	芝生広場の利用者に関しては、市民の割合が多いため。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	最少の費用で維持管理している。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	土地使用賃借の契約上、休止・廃止は不可能である。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

B

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	本格的にオープンしたバラ園以外でも観光スポットとして如何に集客するかが課題である。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	花畑エリアをバラ庭園に利用事業転換した。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではできませんか。)	ア. ある イ. ない	花畑エリアをバラ庭園に利用事業転換しコストを下げた。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	土地貸付に伴う歳入がある。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	バラの開花に伴う「ローズフェスティバル」の期間中は、かなりの来園者であり、リピーターも多いと認識している。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—